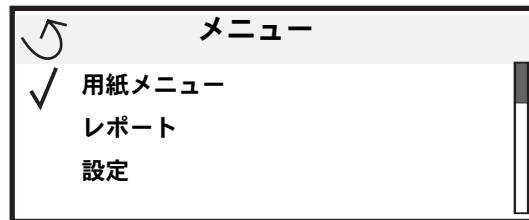


1

プリンタメニューの使いかた

プリンタの設定を簡単に変更するための多くのメニューが用意されています。以下の図は、操作パネルのメニュー索引と、各メニューで使用できるメニュー項目を示しています。この章では、各メニューのメニュー項目と選択可能な値について詳しく説明します。

一部のメニュー項目または値は、特定のオプションがプリンタに取り付けられている場合のみ表示されます。特定のプリンタ言語でのみ有効なメニュー項目もあります。これらの値はいつでも選択できますが、オプション機器を装着している場合、または指定のプリンタ言語の場合にのみプリンタの機能に影響を与えます。



消耗品メニュー

- シアンカートリッジ
- マゼンタカートリッジ
- イエローカートリッジ
- ブラックカートリッジ
- 廃トナーボックス
- フューザ
- ITU

用紙メニュー

- 標準設定給紙源
- 用紙 大きさ/種類
- 多目的フィード設定
- 代替サイズ
- 用紙表面粗さ
- 用紙重さ
- 用紙セット方法
- ユーザー定義紙種
- グローバル設定
- トレイ設定

レポート

- メニュー設定印刷
- デバイス統計
- ネットワーク設定
- ワイヤレス設定ページ
- プロファイル一覧
- NetWare 設定ページ
- フォント一覧印刷
- ディレクトリ印刷
- デモを印刷

設定

- セットアップ項目
- 仕上げメニュー
- 印刷品質メニュー
- ユーティリティ項目
- PDF メニュー
- PostScript メニュー
- PCL メニュー
- PPDS メニュー
- HTML メニュー
- イメージメニュー

セキュリティ

- 無効暗証許可回数
- ジョブ期限切れ

ヘルプ

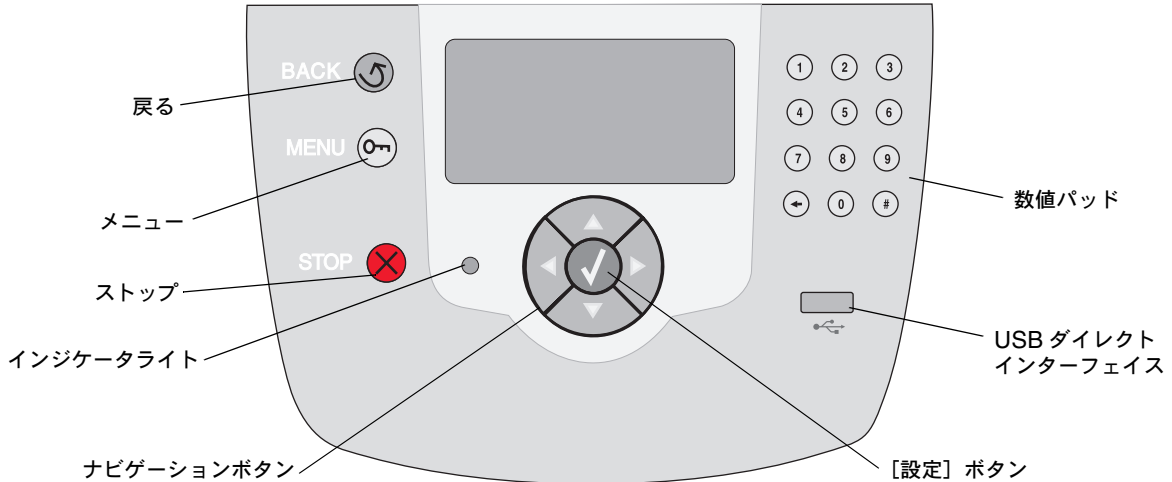
- 全て印刷
- カラー品質
- 印刷品質
- 印刷ガイド
- 用紙ガイド
- 印刷欠陥
- メニューマップ
- 情報ガイド
- 接続ガイド
- 移動ガイド

ネットワーク/ポート




- TCP/IP
- IPv6
- ワイヤレス
- 標準ネットワークおよびネットワーク<x>
- 標準 USB および USB<x>
- パラレル<x>
- シリアル<x>
- NetWare
- AppleTalk
- LexLink
- USB に直接

プリンタの操作パネルについて

プリンタの操作パネルは 4 行のバックライト付きグレースケール画面で、グラフィックスとテキストの両方を表示できます。操作パネルの左には [戻る]、[メニュー]、[ストップ] ボタン、下にはナビゲーションボタン、右には数値パッドがあります。



以下の表に、ボタンの機能と表示パネルでの配置を示します。

ボタン	機能										
戻る 	[戻る] ボタンを押して、直前の画面に戻ります。 メモ: [戻る] ボタンを押した場合、画面で行った変更は適用されません。										
メニュー 	[メニュー] ボタンを押して、メニュー索引を開きます。 メモ: メニュー索引を開くには、プリンタが [準備完了] 状態になっている必要があります。プリンタの準備が完了していない場合は、メニューを表示できないことを示すメッセージが表示されます。										
ストップ 	[ストップ] ボタンを押して、プリンタの動作を停止します。 [ストップ] を押した後、 [中止] メッセージが表示されます。プリンタが停止すると、操作パネルの状態行に [停止中] と表示された後に、オプションのリストが表示されます。										
インジケータライト	操作パネルでは、緑と赤の 2 色の LED が使用されています。LED は、プリンタの電源が入っているかどうか、プリンタがビジー、待機中、ジョブの処理中かどうか、またはユーザーの操作が必要かどうかを示します。 <table border="1" data-bbox="521 1409 1385 1619"> <thead> <tr> <th>状況</th> <th>意味</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オフ</td> <td>電源が入っていません。</td> </tr> <tr> <td>緑に点灯</td> <td>プリンタの電源は入っていますが、待機中です。</td> </tr> <tr> <td>緑に点滅</td> <td>プリンタが準備中、データ処理中、ジョブを印刷中です。</td> </tr> <tr> <td>赤に点灯</td> <td>ユーザーの操作が必要です。</td> </tr> </tbody> </table>	状況	意味	オフ	電源が入っていません。	緑に点灯	プリンタの電源は入っていますが、待機中です。	緑に点滅	プリンタが準備中、データ処理中、ジョブを印刷中です。	赤に点灯	ユーザーの操作が必要です。
状況	意味										
オフ	電源が入っていません。										
緑に点灯	プリンタの電源は入っていますが、待機中です。										
緑に点滅	プリンタが準備中、データ処理中、ジョブを印刷中です。										
赤に点灯	ユーザーの操作が必要です。										

プリンタメニューの使いかた

ボタン	機能
ナビゲーションボタン 	<p>上方向および下方向ボタンを使用して、リスト内を上下に移動します。</p> <p>上方向または下方向ボタンを使用してリスト内を移動する場合、カーソルは一度に1行ずつ移動します。下方向ボタンを押すと、画面が次のページに切り替わります。</p> <hr/> <p>左方向および右方向ボタンを使用して、あるメニュー索引項目から別のメニュー索引項目に移動するなど、画面内を移動します。画面に収まらないテキストをスクロールする場合にも使用します。</p> <hr/> <p>[設定] ボタンを押して、選択したアクションを実行します。[設定] を押して、項目を選択したり、構成設定項目を送信したり、ジョブの開始やキャンセルを行います。</p> 
USB ダイレクトインターフェイス	<p>操作パネルのホスト USB ダイレクトインターフェイスに、USB フラッシュメモリデバイスを挿入して、.pdf、.gif、.jpeg、.jpg、.bmp、.png、.tiff、.tif、.pcx、および .dcx の各ファイルを印刷できます。</p> <p>メモ：コンピュータまたは他の周辺機器に接続するための USB ポートはプリンタの背面にあります。</p>
数値パッド 	<p>数値パッドには、数字ボタン、#ボタン、バックスペースボタンがあります。5 のボタンには、目で見なくても位置がわかるように突起が付いています。</p> <p>数字を使用して、数量や暗証番号などの数値を入力します。バックスペースを使用して、カーソルの左側にある数字を削除します。バックスペースを押すたびに、入力した値がさらに削除されます。</p> <p>メモ：# ボタンは使用しません。</p>
操作パネル <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">  状況 / 消耗品 ✓ 準備完了 カセット 1 残少 消耗品を表示 </div> <p>[説明] 画面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">  保持ジョブが幾つか 復元されません </div> <p>[表示] 画面</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  カセットを去除; 印刷用紙を 去除く  </div>	<p>操作パネルには、プリンタの現在の状況を示すメッセージとグラフィックスが表示されます。また、解決が必要なプリンタの問題も示されます。</p> <p>画面の最初の行はヘッダー行です。[戻る] ボタンが使用できる場合は、このボタンを使用できることを示すグラフィックスが表示されます。現在の状況と消耗品（警告）の状況も表示されます。複数の警告がある場合、各警告はカンマで区切られます。</p> <p>画面の残りの 3 行が本文です。ここには、プリンタの状態、消耗品に関するメッセージ、[表示] 画面が表示され、各項目を選択することができます。</p>

メニューグループ

メモ：値の横にあるアスタリスク（*）は、その値が標準設定であることを示します。

消耗品メニュー

[消耗品メニュー] の各項目で消耗品の状況を確認できます。状況は変更はできません。

メニュー項目	用途	値
シアンカートリッジ	シアントナーの状況を確認します。	残少
		無効
		入っていません
		不良
		OK
		非サポート
マゼンタカートリッジ	マゼンタトナーの状況を確認します。	残少
		無効
		入っていません
		不良
		OK
		非サポート
イエローカートリッジ	イエロートナーの状況を確認します。	残少
		無効
		入っていません
		不良
		OK
		非サポート
ブラックカートリッジ	ブラックトナーの状況を確認します。	残少
		無効
		入っていません
		不良
		OK
		非サポート
廃トナーボックス	廃トナーボックスの状況を確認します。	ほとんど満杯
		交換
		入っていません
		OK

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
フューザ	フューザの状況を確認します。	寿命近し	
		交換	
		入っていません	
		OK	
ITU	転写ベルトの状況を確認します。	寿命近し	
		交換	
		入っていません	
		OK	

用紙メニュー

[用紙メニュー] を使用して、各用紙カセット、標準設定の給紙源、排紙トレイにセットする用紙を設定します。

標準設定給紙源

メニュー項目	用途	値	
標準設定給紙源	標準設定の給紙源を指定します。	カセット<x>	同じ大きさで種類の用紙を2つの給紙源にセットし、[用紙の大きさ] および [用紙の種類] メニュー項目を正しく設定すると、これらのカセットは自動的にリンクされます。1つの給紙源が空になると、リンクされている次の給紙源から自動的に給紙されます。
		多目的フィーダ	
		手差し用紙	
		手差し封筒	

用紙 大きさ / 種類

このメニュー項目を選択して、給紙カセットにセットする用紙の大きさと種類を設定します。用紙の大きさと種類の設定は2段階で行います。最初のメニュー項目では、[大] または [大きさ] が太字で表示されます。用紙の大きさを選択すると画面が変わり、[種] または [種類] が太字で表示されます。次に、用紙の種類を選択します。

メモ：取り付けられた給紙源のみが表示されます。

メニュー項目	用途	値	
カセット<x> 大きさ/種類	各給紙源に標準設定の用紙の大きさを指定します。 メモ：自動大きさ検知機能を備えたカセットの場合は、ハードウェアが検知した値のみが表示されます。	A4* (米国外) A5 JIS B5 レター* (米国) リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント ユニバーサル 7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒 DL 封筒 C5 封筒 B5 封筒 その他の封筒	同じ大きさで種類の用紙を2つの給紙源にセットし、[用紙の大きさ] および [用紙の種類] メニュー項目を正しく設定すると、これらのカセットは自動的にリンクされます。1つの給紙源が空になると、リンクされている次の給紙源から自動的に給紙されます。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
カセット<x> 大きさ/種類	各給紙源にセットした用紙の種類を指定します。 メモ: ユーザーが定義した名前がある場合は、[ユーザー定義<x>]に代わってその名前が表示されます。複数のユーザー定義種で同じ名前を共有していても、[用紙の種類]の一覧にその名前は1回しか表示されません。	普通紙* 厚紙 OHP フィルム 光沢 ラベル ビニール ラベル ボンド紙 封筒 レターヘッド紙 プレプリント紙 色付き紙 ユーザー定義種<x>	このメニュー項目を使用して、以下のことを行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 指定した用紙の印刷品質を最適化します。 • 用紙の種類と大きさを選択して、ソフトウェアアプリケーションで給紙源を選択します。 • 給紙源を自動的にリンクします。 用紙の大きさと種類を正しく設定すると、同じ大きさと種類の用紙がセットされた給紙源が自動的にリンクされます。
多目的フィーダ 大きさ/種類	多目的フィーダにセットする用紙の大きさを指定します。	A4* (米国外) A5 JIS B5 レター* (米国) リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント ユニバーサル 7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒 DL 封筒 C5 封筒 B5 封筒 その他の封筒	多目的フィーダの設定は、[多目的フィーダ設定]が[カセット]に設定されている場合のみ、操作パネルに表示されます。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
多目的フィーダ 大きさ/種類	多目的フィーダにセットした用紙の種類を指定します。 メモ：ユーザーが定義した名前がある場合は、[ユーザー定義<x>]に代わってその名前が表示されます。複数のユーザー定義種で同じ名前を共有していても、[用紙の種類]の一覧にその名前は1回しか表示されません。	普通紙 厚紙 OHP フィルム 光沢 ラベル ビニール ラベル ボンド紙 封筒 レターヘッド紙 プレプリント紙 色付き紙 ユーザー定義 1 ユーザー定義 2 ユーザー定義 3 ユーザー定義 4 ユーザー定義 5 ユーザー定義 6*	多目的フィーダの設定は、[多目的フィーダ設定]が[カセット]に設定されている場合のみ、操作パネルに表示されます。
手差し用紙 大きさ/種類	手差しでセットする用紙の大きさを指定します。	A4* (米国外) A5 JIS B5 レター* (米国) リーガル エグゼクティブ フォリオ ステートメント ユニバーサル	
手差し用紙 大きさ/種類	手差しでセットする用紙の種類を指定します。	普通紙* 厚紙 OHP フィルム 光沢 ラベル ビニール ラベル ボンド紙 レターヘッド紙 プレプリント紙 色付き紙 ユーザー定義種<x>	

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値
手差し封筒 大きさ/種類	手差しでセットする封筒の大きさを指定します。	7 3/4 封筒 9 封筒 10 封筒* (米国) DL 封筒* (米国外) C5 封筒 B5 封筒 その他の封筒
手差し封筒 大きさ/種類	手差しでセットする封筒の種類を指定します。	封筒* ユーザー定義種<x>

多目的フィーダ設定

以下のメニュー項目を使用して、多目的フィーダが別の給紙カセットまたは手差しフィーダの代わりに使用されるように設定します。多目的フィーダを別のカセットにリンクしている場合は、別のカセットから給紙する前に多目的フィーダから給紙します。

メニュー項目	用途	値
多目的フィーダ設定	多目的フィーダにセットした用紙が選択されるタイミングを設定します。	カセット* 手動 第一候補

代替サイズ

以下のメニュー項目を使用して、要求した大きさの用紙がプリンタの給紙源にセットされていない場合に別の大きさの用紙を代替で使用するかどうかを設定します（たとえば、[代替サイズ] が [レター /A4] に設定されていて、レターサイズの用紙しかセットされていない場合）。A4 用紙への印刷要求を受信すると、用紙変更要求は表示されず、A4 の代わりにレターサイズを使用してジョブが印刷されます。

メニュー項目	用途	値
代替サイズ	要求した大きさの用紙がセットされていない場合に指定の大きさの用紙を代替で使用します。	オフ ステートメント/A5 レター /A4 一覧のすべて* <ul style="list-style-type: none"> • [オフ] に設定した場合は、代替サイズの用紙は使用されません。 • [一覧の全て] に設定した場合は、使用可能な代替サイズの用紙がすべて使用されます。

プリンタメニューの使いかた

用紙表面粗さ

以下のメニュー項目を使用して、定義済みの用紙の種類ごとの粗さを設定します。この設定により、用紙の粗さに合わせて印刷品質を最適化できます。

メニュー項目	用途	値		
普通紙の粗さ	特定の給紙源にセットした用紙の粗さを指定して、適切な濃さで印刷します。	平滑 普通* 粗い		
OHP フィルム粗さ				
光沢表面				
ラベルの粗さ				
ビニール ラベル面				
ボンド紙の粗さ			平滑 普通 粗い*	
封筒の粗さ			平滑 普通* 粗い	
レターヘッド粗さ				
プレプリント粗さ				
色付き紙の粗さ				
厚紙の粗さ	特定の給紙源にセットした厚紙の表面の粗さを指定します。	平滑 普通* 粗い	指定した給紙源で厚紙がサポートされている場合に表示されます。	
ユーザー定義<x>粗さ	特定の給紙源にセットしたユーザー定義用紙の表面の粗さを指定します。	平滑 普通* 粗い	指定した給紙源でユーザー定義の種類がサポートされている場合に表示されます。	

用紙重さ

以下のメニュー項目を使用して、定義済みの用紙の種類ごとの重さを設定します。この設定により、用紙の重さに合わせて印刷品質を最適化できます。

メニュー項目	用途	値
普通紙の重さ	特定の給紙源にセットした用紙の相対的な重さを指定して、適切な濃さで印刷します。	軽 普通* 重
OHP フィルム重さ		
光沢紙重さ		
ラベルの重さ		
ビニール ラベル重		
ボンド紙の重さ		
封筒の重さ		
レターヘッド重さ		
プレプリント重さ		
色付き紙の重さ		

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
厚紙の重さ	特定の給紙源にセットした厚紙の相対的な重さを指定します。	軽 普通* 重	指定した給紙源で厚紙がサポートされている場合に表示されます。
ユーザー定義<x>重さ	特定の給紙源にセットしたユーザー定義用紙の相対的な重さを指定します。	軽 普通* 重	指定した給紙源でユーザー定義の種類がサポートされている場合に表示されます。

用紙セット方法

以下のメニュー項目を使用して、用紙の種類ごとのセット方法を設定します。この設定により、給紙源にプレプリント紙をセットした場合に、両面印刷されるように設定できます。片面印刷を指定するには、アプリケーションソフトウェアを使用します。片面印刷を選択すると、空白ページが自動的に挿入されてジョブが適切に印刷されます。

メモ：[用紙セット方法] は、両面印刷ユニットが取り付けられている場合のみ使用可能です。

メニュー項目	用途	値	
ラベルセット中	両面印刷ジョブか片面印刷ジョブかに関わらず、プレプリント紙を適切に処理します。	両面印刷 オフ*	
ボンド紙セット中			
ビニール ラベル装			
レターヘッド紙			
プレプリント紙			
色付き紙セット中			
光沢紙をセット中	両面印刷ジョブか片面印刷ジョブかに関わらず、光沢紙を適切に処理します。	両面印刷 オフ*	指定した給紙源で光沢紙がサポートされている場合に表示されます。
厚紙セット中	両面印刷ジョブか片面印刷ジョブかに関わらず、厚紙を適切に処理します。	両面印刷 オフ*	指定した給紙源で厚紙がサポートされている場合に表示されます。
ユーザー定義<x>	両面印刷ジョブか片面印刷ジョブかに関わらず、プレプリントユーザー定義用紙を適切に処理します。	両面印刷 オフ*	指定した給紙源でユーザー定義の種類がサポートされている場合に表示されます。

ユーザー定義紙種

以下のメニュー項目を使用して、ユーザー定義用紙の種類ごとの名前を定義します。MarkVision などのユーティリティや操作パネルから名前を割り当てることができます。

メニュー項目	用途	値	
ユーザー定義<x>	[用紙の種類] メニューで使用可能な各ユーザー定義種に関連付けられた用紙の種類を指定します。	用紙* 厚紙 OHP フィルム 光沢 ラベル ビニール ラベル 封筒	ユーザー定義名を割り当てするには、ユーザー定義の用紙が指定の給紙源で使用できる必要があります。 名前を割り当てると、[ユーザー定義 x] に代わってその名前（24 文字以下）が表示されます。

プリンタメニューの使いかた

グローバル設定

以下のメニュー項目を使用して、ユニバーサル用紙の高さおよび幅を指定します。ユニバーサル用紙の高さと幅を指定すると、この設定を他の用紙サイズの設定と同じように使用して、両面印刷や N アップ印刷などを行うことができます。

メニュー項目	用途	値	
測定単位	ユニバーサル用紙の高さと幅の入力に使用する測定単位を指定します。	インチ (米国) mm (米国外)	米国内の標準設定は [インチ] で、米国外の標準設定は [mm] です。
縦長の横の長さ	ユニバーサル用紙の縦長の横の長さを指定します。 メモ: この長さが上限を超える場合は、プリンタで使用可能な最大長 (インチまたは mm 単位) が使用されます。	3 インチ ~ 48 インチ (0.01 インチ間隔) 76 mm ~ 1219 mm (1 mm 間隔)	[測定単位] 設定に基づいてインチまたは mm で表示されます。米国内の標準設定は 8.5 インチで、米国外の標準設定は 216 mm です。
縦長の縦の長さ	ユニバーサル用紙の縦長の縦の長さを指定します。 メモ: この高さが上限を超える場合は、プリンタで使用可能な最大長 (インチまたは mm 単位) が使用されます。	3 インチ ~ 48 インチ (0.01 インチ間隔) 76 mm ~ 1219 mm (1 mm 間隔)	[測定単位] 設定に基づいてインチまたは mm で表示されます。米国内の標準設定は 14 インチで、米国外の標準設定は 356 mm です。
用紙取込み方向	ユニバーサル用紙のセット方向を指定します。	短辺* 長辺	[長辺] は、プリンタの最大幅よりも用紙の最大長辺が短い場合のみ表示されます。

トレイ設定

以下のメニュー項目を使用して、印刷したドキュメントが排出される排紙トレイを指定します。

メモ: 該当の用紙の種類をサポートする取り付け済みのトレイのみが表示されます。

メニュー項目	用途	値	
排紙トレイ	印刷したドキュメントの標準排紙トレイを指定します。	標準排紙先* トレイ<x>	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーが定義した名前がある場合は、[トレイ<x>] に代わってその名前が表示されます。 名前は 24 文字まで表示されます。 複数の排紙トレイで同じ名前を共有していても、[標準排紙先] の一覧にその名前は 1 回しか表示されません。
トレイを設定	特定のジョブで使用する排紙トレイを指定します。	メールボックス* リンク メールオーバーフロー オプションリンク 用紙タイプの割当	<p>特定のユーザー用に指定した排紙トレイに印刷ジョブを送ります。</p> <p>複数の排紙トレイをリンクして、1 つの大容量トレイのように扱います。1 つの排紙トレイがいっぱいになると、リンクされた次の排紙トレイにジョブを送ります。リンクされたすべての排紙トレイでこの処理が続きます。</p> <p>オプションの排紙トレイが 4 つ以上取り付けられている場合のみ表示されます。</p> <p>オプションのトレイが 3 つ以上取り付けられている場合のみ表示されます。</p> <p>特定の用紙の種類用に指定した排紙トレイにジョブを送ります。</p>

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
オーバーフロー トレイ		標準トレイ	取り付け済みの排紙トレイのみが表示されます。ユーザーが定義した名前がある場合は、その名前が代わりに表示されます。
		トレイ<x>	
用紙種/トレイ割当	要求された用紙の種類に応じて、特定の排紙トレイに印刷ジョブを送ります。 メモ：ユーザーが定義した名前がある場合は、【ユーザー定義<x>トレイ】に代わってその名前が表示されます。名前は 24 文字まで表示されます。複数の排紙トレイで同じ名前を共有していても、【用紙種/トレイ割当】の一覧にその名前は 1 回しか表示されません。	普通紙トレイ	無効*
		厚紙トレイ	標準トレイ
		OHP フィルムトレイ	トレイ 1
		光沢紙トレイ	トレイ 2
		ラベルトレイ	トレイ 3
		ピニラベルトレイ	トレイ 4
		ポンド紙トレイ	トレイ 5
		封筒トレイ	メモ：取り付け済みの排紙トレイのみが表示されます。【トレイを設定】が【用紙タイプの割当】に設定されている場合、標準設定は【標準排紙先】となります。
		レターヘッド紙トレイ	
		プレプリント紙トレイ	
		色付き紙トレイ	
		ユーザー定義<x>トレイ (<x>は 1 ~ 6)	

レポート

メニュー設定印刷

以下のメニュー項目を使用して、メニュー設定ページを印刷します。

メニュー項目	用途	値
メニュー設定印刷	プリンタの標準設定に関する情報を印刷して、プリンタオプションが正しく取り付けられていることを確認します。	この項目を選択すると、ページが印刷され、プリンタは【準備完了】に戻ります。

デバイス統計

以下のメニュー項目を使用して、プリンタの統計情報を表示します。

メニュー項目	用途	値
デバイス統計	プリンタの統計情報を印刷します。	この項目を選択すると、ページが印刷され、プリンタは【準備完了】に戻ります。

ネットワーク設定

以下のメニュー項目を使用して、ネットワーク設定ページを印刷します。

メニュー項目	用途	値
ネットワーク設定 追加のネットワーク オプションが取り付 けられている場合は、 [ネット<x>設定] が表示されます。	ネットワーク設定に関する情報を印刷して、 ネットワーク接続を確認します。 メモ：このページには、ネットワーク印刷の 設定に役立つ情報も含まれています。	この項目を選択すると、ページが印刷され、プリンタは [準備完了]に戻ります。

ワイヤレス設定ページ

以下のメニュー項目を使用して、ワイヤレス設定ページを印刷します。

メニュー項目	用途	値
ワイヤレス設定 ページ オプションのワイヤ レス内蔵プリント サーバーが取り付 けられている場合のみ 表示されます。	ワイヤレス設定に関する情報を印刷します。	この項目を選択すると、ページが印刷され、プリンタは [準備完了]に戻ります。

プロファイル一覧

以下のメニュー項目を使用して、このプリンタに保存されているプロファイルの一覧を印刷します。

メニュー項目	用途	値
プロファイル一覧	プリンタに保存されているプロファイルの一 覧を印刷します。	この項目を選択すると、ページが印刷され、プリンタは [準備完了]に戻ります。

NetWare 設定ページ

以下のメニュー項目を使用して、内蔵プリントサーバーに関する情報を印刷します。

メニュー項目	用途	値
NetWare 設定ページ	内蔵プリントサーバーおよび [ネットワーク メニュー] の [ネット<x>設定] メニュー 項目で定義されたネットワーク設定に関する 情報を印刷します。	この項目を選択すると、ページが印刷され、プリンタは [準備完了]に戻ります。

プリンタメニューの使いかた

フォント一覧印刷

以下のメニュー項目を使用して、プリンタに保存されているフォントの一覧を印刷します。

メニュー項目	用途	値	
フォント一覧印刷	選択されているプリンタ言語で使用できるすべてのフォントのサンプルを印刷します。	PCL フォント	PCL エミュレーションで使用できるすべてのプリンタフォントのサンプルが印刷されます。
		PS フォント	PostScript エミュレーションで使用できるすべてのプリンタフォントのサンプルが印刷されます。
		PPDS フォント	有効になっている場合のみ表示されます。

ディレクトリ印刷

以下のメニュー項目を使用して、ディレクトリリストを印刷します。ディレクトリリストは、オプションのフォーマット済みのフラッシュメモリカードまたはハードディスクに保存されているリソースの一覧です。

メニュー項目	用途	値
ディレクトリ印刷	オプションのフラッシュメモリカードまたはハードディスクに保存されているリソースの一覧を印刷します。 メモ：[ディレクトリ印刷] は、不良がなく、フォーマット済みのフラッシュメモリまたはハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。	この項目を選択すると、ページが印刷され、プリンタは【準備完了】に戻ります。

デモを印刷

このメニューはデモページを印刷します。

メニュー項目	用途	値	
デモを印刷	デモページを印刷します。	印刷	この項目を選択すると、ページが印刷され、プリンタは【準備完了】に戻ります。
PPDS 情報	PPDS 情報ページを印刷します。	印刷	PPDS 設定を表示させるには、PPDS が有効になっている必要があります。 この項目を選択すると、ページが印刷され、プリンタは【準備完了】に戻ります。
[常駐デモページの一覧]	常駐デモページを印刷します。	印刷	この項目を選択すると、ページが印刷され、プリンタは【準備完了】に戻ります。

設定

セットアップ項目

以下のメニュー項目を使用して、各種プリンタ機能を設定します。

メニュー項目	用途	値	
表示言語	操作パネルに表示されるテキストの言語を指定します。	English	メモ：すべての言語が表示されるわけではありません。
		Français	
		Deutsch	
		Italiano	
		Español	
		Dansk	
		Norsk	
		Nederlands	
		Svenska	
		Português	
		Suomi	
		Russian	
		Polski	
		Hungarian	
		Turkish	
		Czech	
		Simplified Chinese	
Traditional Chinese			
Korean			
日本語			

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
電力節約	プリンタがジョブの印刷後に省電力状態になるまでの待機時間（分）を指定します。	1 ~ 240	<p>プリンタがジョブの印刷後に電力節約モードになるまでの待機時間（分）を指定します（この範囲の一部の値しか指定できないプリンタもあります）。</p> <p>電力節約の出荷時標準設定は、プリンタの機種によって異なります。現在の電力節約設定は、メニュー設定ページを印刷して確認できます。プリンタを電力節約モードにしても、印刷ジョブを受信する準備はできています。</p> <p>印刷ジョブ終了の1分後にプリンタを電力節約モードにするには、[1]を選択します。この設定で消費電力を節約できますが、ウォームアップ時間が長くなります。室内照明と電気回路を共有している場合に、照明のちらつきがある場合は、[1]を選択します。</p> <p>プリンタを常時使用する場合は、大きい数字を選択します。これによりほとんどの場合、最小限のウォームアップ時間で印刷できるようになります。電力消費とウォームアップ時間のバランスをとる必要がある場合には、1 ~ 240分の範囲で選択します。</p>
		無効	[設定構成メニュー]の[エネルギー節約]が[オン]に設定されている場合、値[無効]は表示されません。
警報	プリンタがユーザーの操作を要求する場合に警報を鳴らすかどうかを設定します。	警告音設定： オフ 1回* 連続	<p>オフ-警告音は鳴りません。</p> <p>1回*-短いビーブ音が3回鳴ります。</p> <p>連続-3回のビーブ音を10秒ごとに繰り返します。</p> <p>メモ：ホチキス警告は、フィニッシュャが取り付けられている場合のみ表示されます。</p>
		カートリッジ警報： オフ 1回* 連続	
		ホチキス警告： オフ* 1回 連続	

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
時間切れ	<p>プリンタがホーム画面に戻る、ジョブ終了メッセージを受信する、またはコンピュータから追加データを受信するまでの待機時間（秒）を指定します。</p> <p>メモ：[最大データ待ち時間]は、PostScript エミュレーションを使用している場合のみ設定できます。この値は、PCL エミュレーションの印刷ジョブには影響しません。</p> <p>メモ：[印刷時間切れ]は、PCL エミュレーションを使用している場合のみ設定できます。この値は、PostScript エミュレーションの印刷ジョブには影響しません。</p>	画面時間切れ： 15 ~ 300 (30*)	無効 - [画面時間切れ]が無効になります。 15 ~ 300 - プリンタがホーム画面に戻るまでの待機時間を指定します。 標準設定は [30*] です。
		印刷時間切れ： 無効 1 ~ 255 (90*)	無効 - [印刷時間切れ]が無効になります。 1 ~ 25 - 残りの印刷ジョブをキャンセルするまでに、プリンタがジョブ終了メッセージを待つ時間を指定します。 メモ：時間切れになった場合、プリンタ内に残っている一部フォーマット済みのページがすべて印刷されたあと、データがないかどうか他の入力ポートを確認します。 標準設定は [90*] です。
		最大データ待ち時間： 無効 15 ~ 65535 (40*)	無効 - [最大データ待ち時間]が無効になります。 15 ~ 65535 - ジョブをキャンセルするまでに、プリンタが追加データを待つ時間を指定します。 標準設定は [40*] です。
		ネットジョブ時切： 0 ~ 255 (90*)	1 秒単位で増加できます。 値が [0] の場合、時間切れが無効になります。 1 ~ 9 の値を選択した場合、 10 が設定として保存されます。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
印刷回復	特定のオフライン状況から印刷を自動継続する、紙づまりが発生したページを再印刷する、またはページ全体が処理され印刷できるようになるまで待機するかどうかを指定します。	自動継続： 無効* 5 ~ 255	指定した時間内に特定のオフライン状況が解決しない場合に、印刷を自動継続するようにプリンタを設定します。 5 ~ 255 – プリンタの待機時間 (秒) を指定します。
		紙詰り後の処理： オン オフ 自動*	紙づまりが発生したページを再印刷するかどうかを指定します。 オン – 紙づまりが発生したページを再印刷します。 オフ – 紙づまりが発生したページを再印刷しません。 自動* – ページの保持に必要なメモリが他のプリンタタスクで必要とされない限り、紙づまりが発生したページを再印刷します。
		ページ保護： オフ* オン	別の方法では「複雑ページ」エラーが発生する可能性のあるページを正常に印刷します。 オフ* – ページ全体を処理するためのメモリが不足している場合、ページの一部を印刷します。 オン – ページ全体を処理してから印刷するようにします。 メモ ： [オン] を選択してもページが印刷できない場合は、ページ内のフォントの数と大きさを減らすか、プリンタに取り付けるメモリを増やしてください。 メモ ： ほとんどの印刷ジョブでは、[オン] にする必要はありません。[オン] を選択すると、印刷速度が低下する場合があります。
プリンタ言語	コンピュータからプリンタへのデータ通信に使用する標準のプリンタ言語を指定します。 メモ ： 標準のプリンタ言語を設定しても、ソフトウェアアプリケーションから他のプリンタ言語を使用する印刷ジョブを送信できます。	PCL PS* PPDS エミュレート	PCL – ホストとの通信に PCL インタプリタを使用します。 PS – ホストとの通信に PS インタプリタを使用します。 有効になっている場合、PPDS エミュレートが標準設定です。
印刷領域	論理的および物理的な印刷可能領域を変更します。	普通* ページに合わせる 用紙全体	
プリンタ使用	印刷中のイメージ転写ユニットの動作を決定します。	最高速度	印刷ジョブの実行中は常にイメージ転写ユニットを有効にします。
		最高収率*	ページの内容に基づいてイメージ転写ユニットの位置を決定します。これにより一部の印刷消耗品の寿命が伸びる場合があります。
白黒のみモード	白黒で印刷するようにプリンタを設定します。	オン	[カラーモード] を [モノクロ] に設定した場合と同じ状態です。
		オフ*	印刷ジョブで指定されているカラーが印刷されます。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
ダウンロード先	ダウンロードしたリソースの保存場所を指定します。 ダウンロードしたリソースをフラッシュメモリまたはハードディスクに保存すると、RAM などの一時的な記憶媒体ではなく、永久的な記憶媒体に保存されます。プリンタの電源を切っても、リソースはフラッシュメモリまたはハードディスクに残ります。	RAM*	ダウンロードしたすべてのリソースを自動的にプリンタのメモリ (RAM) に保存します。
		フラッシュ	ダウンロードしたすべてのリソースを自動的にフラッシュメモリに保存します。
		ハードディスク	ダウンロードしたすべてのリソースを自動的にハードディスクに保存します。
ジョブ統計情報	最新の印刷ジョブに関する統計情報をハードディスクに保存するかどうかを指定します。この統計情報には、印刷エラーが発生したかどうかに加え、印刷時間、ジョブサイズ (バイト)、要求された用紙の大きさと種類、合計印刷ページ数、要求された総部数が含まれています。 メモ：ジョブ統計情報は、ハードディスクが取り付けられており、不良がなく、読み取り/書き込み保護または書き込み保護がされていない場合のみ表示されます。	オフ*	ジョブ統計情報をハードディスクに保存しません。
		オン	最新の印刷ジョブのジョブ統計情報を保存します。
リソース保存	プリンタの搭載メモリ容量を超えるメモリを必要とするジョブを受信した場合の、RAM に保存されているフォントやマクロなどのダウンロードされたリソースの処理方法を指定します。	オフ*	メモリが必要になるまでに限り、ダウンロードされたリソースが保持されます。有効でないプリンタ言語に関連するリソースは削除されます。
		オン	言語変更時やプリンタリセット時にも、すべてのプリンタ言語用のダウンロードされたリソースが保持されます。メモリが不足すると、[38 メモリー満杯] が表示されます。
出荷時標準設定	プリンタの設定を出荷時標準値に戻します。	今復元	<ul style="list-style-type: none"> • 以下を除く、すべてのメニュー項目の値が出荷時の標準設定に戻ります。 <ul style="list-style-type: none"> - 表示言語 - パラレルメニュー、シリアルメニュー、ネットワークメニュー、USB メニューのすべての設定 • プリンタメモリ (RAM) にあるダウンロードされたすべてのリソース (フォント、マクロ、シンボルセット) は削除されます (フラッシュメモリまたはハードディスクに格納されているリソースは影響を受けません)。
		復元しない*	ユーザー定義設定は変更されません。

プリンタメニューの使いかた

仕上げメニュー

以下のメニュー項目を使用して、印刷結果の出力方法を定義します。

メニュー項目	用途	値	
両面印刷	すべての印刷ジョブの標準設定として、両面印刷を設定します。 メモ：[両面印刷] オプションは、両面印刷ユニットが取り付けられている場合のみ表示されます。 メモ：特定のジョブのみで両面印刷を行うには、プリンタドライバで[両面印刷]を選択します。	オフ*	用紙の片面に印刷します。
		オン	用紙の両面に印刷します。
両面印刷の綴じ方	両面印刷されたページの閉じ方と、表面(奇数ページ)の印刷に対する裏面(偶数ページ)の印刷方向を定義します。 メモ：[両面印刷] オプションは、両面印刷ユニットが取り付けられている場合のみ表示されます。	長辺*	ページの長辺に沿って綴じます(縦方向の場合は左綴じ、横方向の場合は上綴じ)。
		短辺	ページの短辺に沿って綴じます(縦方向の場合は上綴じ、横方向の場合は左綴じ)。
部数	必要な部数をプリンタの標準値として設定します。 メモ：特定の印刷ジョブの部数はプリンタドライバで設定します。	1 ~ 999 (1*)	プリンタドライバから選択した値は常に、操作パネルから選択した値より優先されます。
空白ページ	アプリケーションが生成した空白ページを印刷結果に含めるかどうかを指定します。	印刷しない*	アプリケーションが生成した空白ページをジョブの一部として印刷しません。
		印刷	アプリケーションが生成した空白ページをジョブの一部として印刷します。
丁合印刷	ジョブを複数部印刷する場合に、印刷ジョブのページをページ順に積み重ねます。	オフ*	ジョブの各ページを[部数]で指定した枚数ずつ印刷します。たとえば、[部数]を[2]に設定し3ページ分を印刷すると、1ページ、1ページ、2ページ、2ページ、3ページ、3ページの順に印刷されます。
		オン	印刷ジョブ全体を[部数]で指定した回数だけ印刷します。たとえば、[部数]を[2]に設定し3ページ分を印刷すると、1ページ、2ページ、3ページ、1ページ、2ページ、3ページの順に印刷されます。
区切り紙	各ジョブの間、複数部のジョブの間、またはジョブで印刷する各ページ間に白紙の区切り紙を挿入します。	なし*	区切り紙を挿入しません。
		部の間	1部ごとに白紙の区切り紙を挿入します。[丁合]を[オフ]に設定している場合は、各ページの束ごとに白紙を挿入します(1ページの束、2ページの束など)。[丁合]を[オン]にしている場合は、丁合いされた束ごとに白紙を挿入します。
		ジョブの間	ジョブの間に白紙を挿入します。
		ページの間	ジョブの各ページ間に白紙を挿入します。OHPフィルムを印刷する場合、またはドキュメントにメモ用に白紙を挿入する場合に便利です。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値																							
区切り紙給紙源	区切り紙を入れる給紙源を指定します。	カセット<x> (カセット 1*)	指定したカセットから区切り紙を選択します。																						
		多目的フィーダ	多目的フィーダから区切り紙を選択します。 メモ: [多目的フィーダ設定]が[カセット]に設定されている必要があります。																						
複数ページ印刷	複数のページを 1 枚の用紙の片面に印刷します。このことを、 N アップ または 用紙節約 ともいいます。	オフ*	用紙の片面に 1 ページ印刷します。																						
		2 アップ	用紙の片面に 2 ページ印刷します。																						
		3 アップ	用紙の片面に 3 ページ印刷します。																						
		4 アップ	用紙の片面に 4 ページ印刷します。																						
		6 アップ	用紙の片面に 6 ページ印刷します。																						
		9 アップ	用紙の片面に 9 ページ印刷します。																						
		12 アップ	用紙の片面に 12 ページ印刷します。																						
		16 アップ	用紙の片面に 16 ページ印刷します。																						
複数ページの順序	[複数ページ印刷]を使用する場合に、複数のページ像の配置方法を指定します。 配置方法は、ページ数およびページの向きが縦向きか横向きかによって異なります。	水平 (左から)*																							
		天地 (左から)																							
		水平 (右から)																							
		天地 (右から)																							
		たとえば、4 アップ複数ページ印刷と縦方向を選択した場合、印刷結果は、選択する [複数ページの順序] の値によって異なります。																							
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 25%;">水平 (左から)</td> <td style="text-align: center; width: 25%;">天地 (左から)</td> <td style="text-align: center; width: 25%;">水平 (右から)</td> <td style="text-align: center; width: 25%;">天地 (右から)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">4</td></tr> </table> </td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">3</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">4</td></tr> </table> </td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">3</td></tr> </table> </td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> </table> </td> </tr> </table>		水平 (左から)	天地 (左から)	水平 (右から)	天地 (右から)	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">4</td></tr> </table>	1	2	3	4	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">3</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">4</td></tr> </table>	1	3	2	4	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">3</td></tr> </table>	2	1	4	3	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> </table>	3	1	4	2
水平 (左から)	天地 (左から)	水平 (右から)	天地 (右から)																						
<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">4</td></tr> </table>	1	2	3	4	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">1</td><td style="text-align: center;">3</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">4</td></tr> </table>	1	3	2	4	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">3</td></tr> </table>	2	1	4	3	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="text-align: center;">3</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">4</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> </table>	3	1	4	2						
1	2																								
3	4																								
1	3																								
2	4																								
2	1																								
4	3																								
3	1																								
4	2																								
複数ページ表示	複数ページを印刷する用紙の方向を指定します。	自動*	横向きまたは縦向きをプリンタが自動的に選択します。																						
		長辺	用紙の長辺をページの上端として設定します (横長)。																						
		短辺	用紙の短辺をページの上端として設定します (縦長)。																						
複数ページ枠	[複数ページ印刷]を使用する場合に、各ページ像の周囲に枠を印刷します。	なし*	各ページ像の周囲に枠を印刷しません。																						
		塗り潰し	各ページ像の周囲に実線の枠を印刷します。																						

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値
ホチキスジョブ		オフ* オン
ページをずらす		なし 部の間 ジョブの間
		メモ: フィニッシャが取り付けられている場合のみ表示されます。

印刷品質メニュー

以下のメニュー項目を使用して、印刷品質に影響し、トナーを節約する設定を変更します。

メニュー項目	用途	値
印刷モード	イメージをモノクログレースケールとカラーのどちらで印刷するかを指定します。	カラー* 白黒のみ
カラー補正	他の出力機器や標準カラーシステムによりよく適合するように、ドキュメントの印刷に使用するカラーを修正します。 加法混色と減法混色の違いのため、モニタに表示される一部のカラーは、プリンタで再現することができません。	自動* オフ 手動
		印刷されるページ内の各オブジェクトの種類とカラー指定に応じて、異なるカラー変換テーブルを適用します。 カラー補正を行いません。 印刷されるページ内の各オブジェクトの種類とカラー指定に応じて、適用されるカラー変換テーブルをユーザー定義します。ユーザー定義は、[手動カラー]メニュー項目で使用可能な設定を使用して行います。
印刷解像度	印刷結果の品質を選択します。	1200 dpi 4800 CQ*
トナーの濃さ	印刷結果の濃淡を調整し、トナーを節約します。	1 ~ 5
		標準設定は [4*] です。 印刷結果を明るくする、またはトナーを節約するには、低い値を選択します。
カラー節約	グラフィックスおよびイメージに使用するトナー量を節約しながら、文字の印刷で高品質を保ちます。グラフィックスおよびイメージの印刷に使用するトナー量は減少しますが、文字の印刷には標準量のトナーを使用します。この設定は、[トナーの濃さ] 設定よりも優先されます。[カラー節約] は、PPDS ではサポートされていません。PCL エミュレーションドライバで一部サポートされています。	オン オフ*
RGB 明度	カラー出力の明度、コントラスト、彩度を調整します。 これらの機能は、CMYK カラーが使用されているファイルには影響しません。カラー仕様の詳細については、ソフトウェアおよび説明書類 CD に収録されている『ユーザーズガイド』の「カラー印刷のよくある質問 (FAQ)」を参照してください。	-6、-5、-4、-3、-2、-1、0*、1、2、3、4、5、6
		下限は [-6] です。 上限は [6] です。 標準設定は [0] です。
RGB コントラスト		0*、1、2、3、4、5
		標準設定は [0] です。 上限は [5] です。
RGB 彩度		0*、1、2、3、4、5
		標準設定は [0] です。 上限は [5] です。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
カラーバランス	各カラープレーンで使用するトナーの分量を微調整して、印刷の色を微妙に変更します。	シアン	-5、-4、-3、-2、-1、0*、1、2、3、4、5 下限は [-5] です。 上限は [5] です。
		マゼンタ	
		イエロー	
		ブラック	
		標準設定に初期化	シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの値を [0] (ゼロ) に設定します。
カラーサンプル	印刷するカラーを選択するために使用します。プリンタで使用する RGB と CMYK の各カラー変換テーブルのカラーサンプルページを印刷します。 カラーサンプルページは、一連のカラーチップと、各チップの色を構成する RGB または CMYK の組み合わせとで構成されます。これらのページは、必要なカラー印刷出力を作成するためにソフトウェアアプリケーションで使用する RGB または CMYK の組み合わせを決定するのに役立ちます。 ネットワーク対応機種のみで使用可能なプリンタ内蔵 Web サーバインターフェイスでは、さらに柔軟な設定が可能です。ユーザーは詳細なカラーサンプルを印刷できます。	sRGB 画面	[sRGB 画面] カラー変換テーブルを使用して RGB サンプルを印刷します。
		sRGB 鮮明	[sRGB 鮮明] カラー変換テーブルを使用して RGB サンプルを印刷します。
		画面 - 真ブラック	[画面 - 真ブラック] カラー変換テーブルを使用して RGB サンプルを印刷します。
		鮮明	[鮮明] カラー変換テーブルを使用して RGB サンプルを印刷します。
		オフ - RGB	カラー変換を実行しません。
		US CMYK	[US CMYK] カラー変換テーブルを使用して CMYK サンプルを印刷します。
		ユーロ CMYK	[ユーロ CMYK] カラー変換テーブルを使用して CMYK サンプルを印刷します。
		鮮明 CMYK	[鮮明 CMYK] カラー変換テーブルを使用して CMYK サンプルを印刷します。
オフ - CMYK	カラー変換を実行しません。		

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
手動カラー	印刷されるページ内の各オブジェクトに対する RGB または CMYK カラー変換をユーザーが定義します。RGB の組み合わせで指定したデータのカラー変換は、オブジェクトの種類（テキスト、グラフィックス、またはイメージ）に従って、プリンタの操作パネルからユーザー定義できます。	RGB イメージ	<p>sRGB 画面* - カラー変換テーブルを適用してコンピュータ画面の表示に近い色で印刷します。</p> <p>sRGB 鮮明 - sRGB 画面カラー変換テーブルの彩度を増加します。業務用グラフィックスおよびテキストに適しています。</p> <p>画面 - 真ブラック - カラー変換テーブルを適用して、中間色のグレーにブラックトナーのみを使用し、コンピュータ画面の表示に近い色で印刷します。</p> <p>鮮明 - より明るく彩度の高い色になるカラー変換テーブルを適用します。</p> <p>オフ - カラー変換を実行しません。</p>
		RGB 文字	sRGB 画面
		RGB グラフィック	<p>sRGB 鮮明*</p> <p>画面 - 真ブラック</p> <p>鮮明</p> <p>オフ</p>
		<p>CMYK イメージ</p> <p>CMYK 文字</p> <p>CMYK グラフィック</p>	<p>US CMYK* (各国または各地域固有の出荷時標準値) - カラー変換テーブルを適用して SWOP カラー出力を近似します。</p> <p>ユーロ CMYK* (各国または各地域固有の出荷時標準値) - カラー変換テーブルを適用して EuroScale カラー出力を近似します。</p> <p>鮮明 CMYK - US CMYK カラー変換テーブルの彩度を増加します。</p> <p>オフ - カラー変換を実行しません。</p>
カラー調節	印刷中は自動カラー調節が定期的に行われます。この項目を選択して、カラー調節を手動で開始できます。	この項目に値はありません。✔ を押して実行します。	
細かい線を強調	<p>意匠図、地図、電気回路図、フローチャートなどの、細かい線を含むファイルに適した印刷モードを有効にします。</p> <p>【細かい線を強調】はメニュー項目ではありません。この設定は、PCL エミュレーションドライバ、PostScript ドライバ、またはプリンタ内蔵 Web サーバーでのみ使用できます。</p>	オン	ドライバで、チェックボックスをオンにします。
		オフ*	ドライバで、チェックボックスをオフにします。

プリンタメニューの使いかた

ユーティリティ項目

以下のメニュー項目を使用して、プリンタ設定の変更、ジョブの削除、プリンタハードウェアの設定、プリンタの問題のトラブルシューティングを行います。

メニュー項目	用途	値	
出荷時標準設定	プリンタの設定を出荷時標準値に戻します。	復元しない*	ユーザー定義設定をそのまま残します。
		今復元	以下を除く、すべてのメニュー項目の値が出荷時の標準設定に戻ります。 <ul style="list-style-type: none"> 表示言語 パラレルメニュー、シリアルメニュー、ネットワークメニュー、USBメニューのすべての設定 フラッシュメモリまたはハードディスクに格納されているリソース メモ：プリンタメモリ（RAM）にあるダウンロードされたすべてのリソース（フォント、マクロ、シンボルセット）は削除されます。
保持ジョブを削除	プリンタのハードディスクから秘密ジョブおよび保持されたジョブを削除します。	秘密 保持 復元できず すべて	選択したメニュー値は、プリンタ内にあるジョブにのみ影響します。しおり、USBフラッシュメモリにあるジョブ、その他の保持されたジョブには影響しません。
フラッシュ初期化	フラッシュメモリをフォーマットします。 注意： フラッシュメモリをフォーマットしている間は、プリンタの電源を切らないでください。	はい	フラッシュメモリに保存されているデータをすべて削除し、フラッシュメモリが新しいリソースを受信できるようにします。
		いいえ	フラッシュメモリのフォーマットリクエストをキャンセルし、フラッシュメモリに現在保存されているリソースをそのまま残します。
フラッシュ最適化	フラッシュメモリから削除したリソースが使用していた記録領域を回収します。 注意： フラッシュメモリを最適化している間は、プリンタの電源を切らないでください。	はい	フラッシュメモリに保存されているリソースをすべてプリンタのメモリに移動し、オプションのフラッシュメモリを再フォーマットします。フォーマットが終了すると、リソースはフラッシュメモリに戻されます。
		いいえ	フラッシュメモリの最適化リクエストをキャンセルします。
ディスクを初期化	プリンタのハードディスクをフォーマットします。 注意： ハードディスクをフォーマットしている間は、プリンタの電源を切らないでください。	はい	ハードディスクに保存されているすべてのデータを削除し、ハードディスクが新しいリソースを受信できるようにします。
		いいえ	ハードディスクのフォーマットリクエストをキャンセルし、ハードディスクに現在保存されているリソースをそのまま残します。
ジョブ統計情報	ハードディスクに保存されているすべてのジョブ統計情報の一覧を印刷するか、すべての統計情報を削除します。	印刷	最新の印刷ジョブで使用可能なすべてのジョブ統計情報を印刷します。
		クリア	ハードディスクに保存されているすべての統計情報を削除します。
カラー整列	カラー印刷品質テストページを印刷します。印刷したページを使用してカラーを正しく合わせます。	整列ページを印刷	この項目に値はありません。【設定】ボタンを押すと、整列ページが印刷されます。
		Aセット～Lセット	各設定（A～L）に対して調整値を入力するよう要求されます。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
ダンプリスト	印刷ジョブで発生した問題の原因を特定するために使用します。	有効化	[ダンプリスト] を選択すると、プリンタに送信されたすべてのデータが、16 進数とそれに対応する文字で印刷されます。制御コードも印刷されます。 メモ：[ダンプリスト] を終了するには、プリンタの電源をオフにするか、または [ストップ] ボタンを押してプリンタをリセットします。
着色面率の推定	1 ページのシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの着色面率を推定します。着色面率の推定値は別のページに印刷されます。	オフ*	着色面率を印刷しません。
		オン	ページの各色に対する着色面率の推定値を印刷します。
液晶コントラスト	操作パネルのコントラストを調整します。	1 ~ 10	標準設定は [5*] です。 数字を大きくすると操作パネルが明るくなり、小さくすると暗くなります。
液晶表示明度	操作パネルの明度を調整します。	1 ~ 10	標準設定は [5*] です。 数字を大きくすると操作パネルの明度が上昇し、小さくすると明度が低下します。

PDF メニュー

以下のメニュー項目を使用して、PDF ジョブに影響するプリンタ設定を変更します。

メニュー項目	用途	値	
用紙に合わせて拡張	選択した用紙サイズに合わせてページの内容を拡大/縮小します。	はい いいえ*	はい – 選択した印刷用紙に合わせてページを拡大/縮小します。 いいえ* – ページを拡大/縮小しません。印刷するテキストやグラフィックスが選択した用紙より大きい場合はクリッピングされます。
注釈	PDF 内の注釈を印刷するかどうかを指定します。	印刷しない* 印刷	印刷しない* – PDF 内の注釈を印刷しません。 印刷 – PDF 内の注釈を印刷します。

PostScript メニュー

以下のメニュー項目を使用して、PostScript プリンタ言語を使用するジョブに影響するプリンタ設定を変更します。

メニュー項目	用途	値	
PS エラーを印刷	エラー発生時に、PostScript エミュレーションエラーを示すページを印刷します。	オフ*	エラーメッセージを印刷せずに、印刷ジョブを削除します。
		オン	ジョブを削除する前に、エラーメッセージを印刷します。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
フォント優先順位	フォントの検索順序を設定します。 メモ：フォント優先順位は、フォーマット済みのフラッシュメモリまたはハードディスクが取り付けられており、不良がなく、読み取り/書き込み保護または書き込み保護がされていない場合のみ表示されます。	常駐*	要求されたフォントを、フラッシュメモリまたはハードディスクで検索する前にプリンタメモリで検索します。
		フラッシュ/ディスク	要求されたフォントを、プリンタメモリで検索する前にフラッシュメモリおよびハードディスクで検索します。
イメージ平滑化	低解像度のビットマップイメージ (WWW からダウンロードしたイメージなど) のコントラストとシャープネスを向上させ、カラートランジションを平滑化します。 メモ：[イメージ平滑化] は、解像度が 300 dpi 以上のイメージには効果がありません。	オフ*	すべてのイメージの印刷に標準の解像度を使用します。
		オン	解像度が 72 dpi のグラフィックスなど、低解像度のイメージの品質を向上します。

PCL メニュー

以下のメニュー項目を使用して、PCL エミュレーションプリンタ言語を使用するジョブに影響するプリンタ設定を変更します。

メニュー項目	用途	値	
フォントソース	[フォント名]メニュー項目に表示されるフォントセットを指定します。	常駐*	工場出荷時にプリンタの RAM に格納されたすべての常駐フォントを表示します。
		ハードディスク	プリンタのハードディスクに保存されているすべてのフォントを表示します。
		フラッシュ	フラッシュメモリに保存されているすべてのフォントを表示します。
		ダウンロード	プリンタの RAM にダウンロードされたすべてのフォントを表示します。
		すべて	すべてのソースに格納されている、プリンタで使用可能なフォントをすべて表示します。
フォント名	指定したフォントソースから特定のフォントを指定します。	R0 Courier*	選択したフォントソース内にあるすべてのフォントのフォント名とフォント ID を表示します。フォントソースの短縮形は、R が [常駐]、F が [フラッシュ]、K が [ハードディスク]、D が [ダウンロード] です。
シンボルセット	指定したフォント名のシンボルセットを指定します。	10U PC-8* (米国) (各国または各地域固有の出荷時標準値)	シンボルセットとは、選択したフォントで印刷する場合に使用される英数字、句読点、特殊記号のセットです。シンボルセットでは、科学で使用される文字、数学記号など、言語や特定の用途ごとに異なる要件をサポートします。選択したフォント名でサポートされているシンボルセットのみを表示します。
		12U PC-850* (米国外) (各国または各地域固有の出荷時標準値)	

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
PCL 設定	スケーラブルな印刷フォントのポイントサイズを変更します。	ポイントサイズ： 1.00 ~ 1008.00 (12*)	ポイントサイズとは、フォント文字の高さのことです。1 ポイントは約 1/72 インチです。1 ~ 1008 のポイントサイズ (0.25 間隔) を選択できます。 メモ：ポイントサイズは印刷フォントに対してのみ表示されます。
	スケーラブルな等幅フォントのフォントピッチを指定します。	ピッチ： 0.08 ~ 100.00 (10*)	ピッチとは、水平方向 1 インチあたりの固定スペース文字の数のことです。1 インチあたり 0.08 ~ 100 文字 (cpi) のピッチを選択できます (0.01 cpi 間隔)。スケーラブルでない等幅フォントの場合、ピッチは表示されますが、変更できません。 メモ：ピッチは、固定フォントまたは等幅フォントの場合のみ表示されます。
	ページ上のテキストおよびグラフィックスの向きを指定します。	印刷方向： 縦長* 横長	[縦長] は、用紙の短辺と平行にテキストおよびグラフィックスを印刷します。 [横長] は、用紙の長辺と平行にテキストおよびグラフィックスを印刷します。
	各ページに印刷する行数を指定します。	行/ページ： 1 ~ 255 60* (米国) 64* (米国外)	プリンタは、[行/ページ]、[用紙の大きさ]、[印刷方向] メニュー項目の各設定に基づいて行間のスペースを設定します。[行/ページ] は、[用紙の大きさ] および [印刷方向] を選択してから変更してください。
	A4 サイズの用紙の論理ページ幅を設定します。	A4 幅： 198 mm* 203 mm	メモ：[203 mm] に設定すると、10 ピッチ文字を 80 文字印刷するのに十分な幅の論理ページになります。
	改行制御コマンドの後にキャリッジリターンを自動的に実行するかどうかを指定します。	LF 後自動 CR： オフ* オン	オフ - 改行制御コマンドの後にキャリッジリターンを実行しません。 オン - 改行制御コマンドの後にキャリッジリターンを実行します。
	キャリッジリターン制御コマンドの後に改行を自動的に実行するかどうかを指定します。	CR 後自動 LF： オフ* オン	オフ - キャリッジリターン制御コマンドの後に改行を実行しません。 オン - キャリッジリターン制御コマンドの後に改行を実行します。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値		
カセット番号変更	用紙カセットの割り当てが異なるプリンタドライバまたはアプリケーションで動作するようにプリンタを設定します。 メモ：給紙源番号の割り当ての詳細については、『 Technical Reference 』（英語版のみ）を参照してください。	多目的フィーダ割当て： オフ* なし 0 ~ 199	オフ - 出荷時標準の給紙源割り当てを使用します。 なし - 給紙源で用紙フィーダの選択コマンドを無視します。 0 ~ 199 - 数値を選択して、給紙源にユーザー定義値を割り当てます。	
		カセット<x>割り当て： オフ* なし 0 ~ 199	オフ - 出荷時標準の給紙源割り当てを使用します。 なし - 給紙源で用紙フィーダの選択コマンドを無視します。 0 ~ 199 - 数値を選択して、給紙源にユーザー定義値を割り当てます。	
		手差し用紙割当て： オフ* なし 0 ~ 199	オフ - 出荷時標準の給紙源割り当てを使用します。 なし - 給紙源で用紙フィーダの選択コマンドを無視します。 0 ~ 199 - 数値を選択して、給紙源にユーザー定義値を割り当てます。	
		手差し封筒を割当て： オフ* なし 0 ~ 199	オフ - 出荷時標準の給紙源割り当てを使用します。 なし - 給紙源で用紙フィーダの選択コマンドを無視します。 0 ~ 199 - 数値を選択して、給紙源にユーザー定義値を割り当てます。	
		出荷時設定を表示	各給紙源に割り当てられている出荷時標準値を表示します。	
		標準設定に復元	[はい] を選択すると、すべての給紙源割り当てが出荷時標準値に戻ります。	

PPDS メニュー

このメニュー項目を使用して、プリンタの PPDS 設定を変更します。

メニュー項目	用途	値	
印刷方向		縦長	この設定を変更すると、PPDS メニューおよび PCL メニューの設定が両方とも変更されます。
		横長	
行/ページ	1 ページあたりの行数を設定します。	1 ~ 255 pt (64*)	
行/インチ	1 インチあたりの行数を設定します。	0.25 ~ 30.00	0.25 間隔
ページ形式		印刷* 用紙全体	
文字セット		1 2*	
最も近いもの		オン* オフ	
カセット 1 番号変更		オフ* カセット 2	カセット 2 が取り付けられている場合のみ表示されます。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
LF 後自動 CR		オン オフ*	この設定を変更すると、PPDS メニューおよび PCL メニューの設定が両方とも変更されます。
CR 後自動 LF		オン オフ*	この設定を変更すると、PPDS メニューおよび PCL メニューの設定が両方とも変更されます。

HTML メニュー

以下のメニュー項目を使用して、プリンタの HTML 設定を変更します。

メニュー項目	用途	値	
フォント名	HTML ドキュメントの標準フォントを設定します。 メモ：フォントが指定されていない HTML ドキュメントには、Times フォントを使用します。	Albertus MT Antique Olive Apple Chancery Arial MT Avant Garde Bodoni Bookman Chicago Clarendon Cooper Black Copperplate Coronet Courier Eurostile Garamond Geneva Gill Sans Goudy Helvetica Hoefler Text	Intl CG Times Intl Courier Intl Univers Joanna MT Letter Gothic Lubalin Graph Marigold MonaLisa Recut Monaco New CenturySbk New York Optima Oxford Palatino StempelGaramnd Taffy Times TimesNewRoman Univers Zapf Chancery
フォントサイズ	HTML ドキュメントの標準フォントサイズを設定します。	1 pt ~ 255 pt(12 pt*)	1 ~ 255 のポイントサイズ (1 ポイント単位) を選択できます。
スケール	HTML ドキュメントの標準フォントを拡大/縮小します。	1% ~ 400% (100%*)	1 ~ 100% の拡大/縮小率 (1% 単位) を選択できます。
印刷方向	HTML ドキュメントのページの印刷方向を設定します。	縦長* 横長	縦* - テキストおよびグラフィックスをページの短辺と平行に印刷します。 横 - テキストおよびグラフィックスをページの長辺と平行に印刷します。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
余白	HTML ドキュメントのページの余白を設定します。	8 mm ~ 255 mm (19 mm*)	8 ~ 255 mm の余白 (1 mm 単位で変更) を設定できます。
背景	HTML ドキュメントの背景を印刷するかどうかを指定します。	印刷* 印刷しない	印刷* - HTML ドキュメントの背景を印刷します。 印刷しない - HTML ドキュメントの背景を印刷しません。

イメージメニュー

以下のメニュー項目を使用して、印刷するイメージのサイズや向きを変更したり、印刷するイメージを反転します。

メニュー項目	用途	値	
自動合せ	最適な用紙サイズ、拡大/縮小率、印刷方向を選択します。	オン* オフ	メモ：[オン] に設定すると、拡大/縮小率の設定がこのメニューの設定に変更され、一部のイメージでは印刷方向の設定も変更されます。
逆	モノクロ 2 階調のイメージを反転します。	オン オフ*	メモ：GIF または JPEG イメージには適用されません。
拡大、縮小	用紙の大きさに合わせてイメージを拡大/縮小します。	左上隅を固定 最も近いもの* 中央を固定 高さ/幅を合せる 高さを合せる 幅を合せる	メモ：[自動合せ] を [オン] に設定すると、[拡大、縮小] は自動的に [最も近いもの] に設定されます。
印刷方向	イメージの印刷方向を設定します。	縦長* 横長 逆縦長 逆横長	縦* - テキストおよびグラフィックスをページの短辺と平行に印刷します。 横 - テキストおよびグラフィックスをページの長辺と平行に印刷します。

セキュリティ

以下のメニュー項目を使用して、暗証番号の入力を要求し、ハードディスクを保護するセキュリティレベルを印刷ジョブごとに設定します。

メニュー項目	用途	値	
無効暗証許容回数	無効な暗証番号を入力できる回数を制限します。	オフ* 2 3 4 5 6 7 8 9 10	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名に対して無効な暗証番号が連続して入力された回数がカウントされます。 制限回数に達すると、そのユーザー名のジョブは削除されます。
ジョブ期限切れ	秘密ジョブが削除されるまでにプリンタ内に残る時間を制限します。	オフ* 1 時間 4 時間 24 時間 1 週間	

ネットワーク/ポート

TCP/IP

以下のメニュー項目を使用して、TCP/IP の設定を表示および変更します。

メモ：このメニューはネットワークに対応していない機種では表示されません。

メニュー項目	用途	値	
TCP/IP	ネットワークオプションを TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol) に設定します。	ホスト名を表示	表示専用
		アドレス	4 フィールドの IP アドレス
		ネットマスク	
		ゲートウェイ	
		DHCP を有効化	オン*
		RARP を有効化	オフ
		BOOTP を有効化	
		AutoIP	
		FTP/TFTP を有効化	
		HTTP サーバー有効	
		WINS サーバーアドレス	4 フィールドの IP アドレス
		DNS サーバーアドレス	

IPv6

以下のメニュー項目を使用して、IPv6 の設定を表示または変更します。

メモ：このメニューはネットワークに対応していない機種では表示されません。

メニュー項目	用途	値	
IPv6	ネットワークを IPv6 (Internet Protocol Version 6) に設定します。	IPv6 を有効化	はい*
			いいえ
		自動構成設定	オン*
			オフ
		ホスト名を表示	表示専用
		アドレスを表示	
ルーター アドレスを表示			
DHCPv6 を有効化	はい*		
	いいえ		

ワイヤレス

このメニューを使用して、ワイヤレス設定を表示または変更します。

メニュー項目	用途	値	
ワイヤレス	ワイヤレス設定を設定します。 メモ：[ワイヤレス]は、オプションのワイヤレス内蔵プリントサーバーがデバイスに取り付けられている場合のみ表示されます。	モード	インフラ アドホック
		ネットワーク名	(使用可能なネットワークのリスト)

標準ネットワークおよびネットワーク<x>

以下のメニュー項目を使用して、ネットワークポート経由でプリンタに送信されるジョブに影響するプリンタ設定を変更します（[標準ネットワーク]または[ネットワーク<x>]）。

メニュー項目	用途	値	
PCL SmartSwitch	標準のプリンタ言語に関わらず、ネットワークポート経由で受信した印刷ジョブで PCL エミュレーションが要求された場合に、自動的に切り替わるように設定します。	オン*	ネットワークインターフェ이스のデータを検査し、PCL エミュレーションが要求されている場合は PCL エミュレーションを選択します。
		オフ	プリンタは受信データを検査しません。[PS SmartSwitch]が[オン]の場合は、PostScript エミュレーションを使用してジョブを処理します。[PS SmartSwitch]が[オフ]の場合は、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
PS SmartSwitch	標準のプリンタ言語に関わらず、ネットワークポート経由で受信した印刷ジョブで PostScript エミュレーションが要求された場合に、自動的に切り替わるように設定します。	オン*	ネットワークインターフェ이스接続のデータを検査し、PostScript エミュレーションが要求されている場合は PostScript エミュレーションを選択します。
		オフ	プリンタは受信データを検査しません。[PCL SmartSwitch]が[オン]の場合は、PCL エミュレーションを使用してジョブを処理します。[PCL SmartSwitch]が[オフ]の場合は、[セットアップ項目]で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
NPA モード	NPA (Network Printer Alliance) プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信に必要な特別な処理をプリンタが実行するかどうかを指定します。 メモ：このメニュー項目を変更すると、自動的にプリンタがリセットされます。	オフ	プリンタは NPA 処理を実行しません。
		自動*	プリンタはデータを検査して形式を特定し、それに従ってデータを処理します。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
ネットワークバッファ	ネットワーク入力バッファのサイズを設定します。 メモ：[ネットワークバッファ]メニュー項目を変更すると、自動的にプリンタがリセットされます。	自動*	プリンタが自動的にネットワークバッファサイズを計算します（推奨設定）。
		3K ~ 許容最大サイズ	ユーザーがネットワークバッファサイズを指定します。設定可能な最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファのサイズ、[リソース保存]が[オン]と[オフ]のどちらに設定されているかによって異なります。ネットワークバッファサイズの範囲を最大にするには、パラレル、シリアル、USBの各バッファを無効にするかサイズを縮小します。
ジョブバッファ中	印刷前に一時的にジョブをプリンタのハードディスクに保存します。	オフ*	ハードディスクにジョブをバッファしません。
		オン	ハードディスクに印刷ジョブをバッファします。
		自動	他の入力ポートからのデータ処理のためプリンタがビジー状態の場合にのみ印刷ジョブをバッファします。
Mac バイナリ PS	Macintosh バイナリ PostScript 印刷ジョブを処理するようにプリンタを設定します。	オン	プリンタは、Macintosh オペレーティングシステムを使用するコンピュータからの RAW バイナリ PostScript 印刷ジョブを処理します。 メモ：この設定では通常、Windows 印刷ジョブは正常に終了しません。
		オフ	プリンタは、標準プロトコルを使用して PostScript 印刷ジョブをフィルタリングします。
		自動*	プリンタは、Windows または Macintosh オペレーティングシステムを使用するコンピュータからの印刷ジョブを処理します。

標準 USB および USB < x >

以下のメニュー項目を使用して、USB (Universal Serial Bus) ポート ([USB<x>]) に影響するプリンタ設定を変更します。

メニュー項目	用途	値	
PCL SmartSwitch	標準のプリンタ言語に関わらず、USB ポート経由で受信した印刷ジョブで PCL エミュレーションが要求された場合に、自動的に切り替わるように設定します。	オン*	USB ポートのデータを検査し、PCL エミュレーションが要求されている場合は PCL エミュレーションを選択します。
		オフ	プリンタは受信データを検査しません。 [PS SmartSwitch] が [オン] の場合は、PostScript エミュレーションを使用してジョブを処理します。[PS SmartSwitch] が [オフ] の場合は、[セットアップ項目] で指定した標準のプリンタ言語を使用します。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
PS SmartSwitch	標準のプリンタ言語に関わらず、USB ポート経由で受信した印刷ジョブで PostScript エミュレーションが要求された場合に、自動的に切り替わるように設定します。	オン*	USB インターフェイスのデータを検査し、PostScript エミュレーションが要求されている場合は PostScript エミュレーションを選択します。
		オフ	プリンタは受信データを検査しません。[PCL SmartSwitch] が [オン] の場合は、PCL エミュレーションを使用してジョブを処理します。[PCL SmartSwitch] が [オフ] の場合は、[セットアップ項目] で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
NPA モード	NPA (Network Printer Alliance) プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信に必要な特別な処理をプリンタが実行するかどうかを指定します。 メモ：このメニュー項目を変更すると、自動的にプリンタがリセットされます。	オン	プリンタは NPA 処理を実行します。データが NPA 形式でない場合、不良データとして拒否します。
		オフ	プリンタは NPA 処理を実行しません。
		自動*	プリンタはデータを検査して形式を特定し、それによってデータを処理します。
USB バッファ	USB 入力バッファのサイズを設定します。 メモ：[USB バッファ] メニュー項目を変更すると、自動的にプリンタがリセットされます。	無効	ジョブバッファは無効になります。ディスクにバッファ済みのジョブは、通常の受信ジョブの処理を再開する前に印刷されます。
		自動*	プリンタが自動的に USB バッファサイズを計算します (推奨設定)。
		3K ~ 許容最大サイズ	ユーザーが USB バッファサイズを指定します。設定可能な最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファのサイズ、[リソース保存] が [オン] と [オフ] のどちらに設定されているかによって異なります。USB バッファサイズの範囲を最大にするには、パラレル、シリアル、ネットワークの各バッファを無効にするかサイズを縮小します。
ジョブバッファ中	印刷前に一時的にジョブをプリンタのハードディスクに保存します。	オフ*	ハードディスクに印刷ジョブをバッファしません。
		オン	ハードディスクに印刷ジョブをバッファします。
		自動	他の入力ポートからのデータ処理のためプリンタがビジー状態の場合にのみ印刷ジョブをバッファします。
Mac バイナリ PS	Macintosh バイナリ PostScript 印刷ジョブを処理するようにプリンタを設定します。	オン	プリンタは、Macintosh オペレーティングシステムを使用するコンピュータからの RAW バイナリ PostScript 印刷ジョブを処理します。 メモ：この設定では通常、Windows 印刷ジョブは正常に終了しません。
		オフ	プリンタは、標準プロトコルを使用して PostScript 印刷ジョブをフィルタリングします。
		自動*	プリンタは、Windows または Macintosh オペレーティングシステムを使用するコンピュータからの印刷ジョブを処理します。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
ENA アドレス	USB ポートの ENA アドレスを設定します。	4 フィールドの IP アドレス	ENA に USB ポート経由で接続している場合のみ表示されます。
ENA ネットマスク	USB ポートの ENA ネットマスクを設定します。		
ENA ゲートウェイ	USB ポートの ENA ゲートウェイを設定します。		

パラレル<x>

以下のメニュー項目を使用して、パラレルポート経由でプリンタに送信されるジョブに影響するプリンタ設定を変更します（[パラレル<x>]）。

メニュー項目	用途	値	
PCL SmartSwitch	標準のプリンタ言語に関わらず、パラレルポート経由で受信した印刷ジョブで PCL エミュレーションが要求された場合に、自動的に切り替わるように設定します。	オン*	パラレルインターフェイスのデータを検査し、PCL エミュレーションが要求されている場合は PCL エミュレーションを選択します。
		オフ	プリンタは受信データを検査しません。[PS SmartSwitch] が [オン] の場合は、PostScript エミュレーションを使用してジョブを処理します。[PS SmartSwitch] が [オフ] の場合は、[セットアップ項目] で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
PS SmartSwitch	標準のプリンタ言語に関わらず、パラレルポート経由で受信した印刷ジョブで PostScript エミュレーションが要求された場合に、自動的に切り替わるように設定します。	オン*	パラレルインターフェイスのデータを検査し、PostScript エミュレーションが要求されている場合は PostScript エミュレーションを選択します。
		オフ	プリンタは受信データを検査しません。[PCL SmartSwitch] が [オン] の場合は、PCL エミュレーションを使用してジョブを処理します。[PCL SmartSwitch] が [オフ] の場合は、[セットアップ項目] で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
NPA モード	NPA(Network Printer Alliance)プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信に必要な特別な処理をプリンタが実行するかどうかを指定します。 メモ：このメニュー項目を変更すると、自動的にプリンタがリセットされます。	オン	プリンタは NPA 処理を実行します。データが NPA 形式でない場合、不良データとして拒否します。
		オフ	プリンタは NPA 処理を実行しません。
		自動*	プリンタはデータを検査して形式を特定し、それによってデータを処理します。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
パラレルバッファ	パラレル入力バッファのサイズを設定します。 メモ：このメニュー項目を変更すると、自動的にプリンタがリセットされます。	無効	ジョブバッファを無効にします。ディスクにバッファ済みのジョブは、通常の受信ジョブの処理を再開する前に印刷されます。
		自動*	プリンタが自動的にパラレルバッファサイズを計算します（推奨設定）。
		3K ~ 許容最大サイズ	ユーザーがパラレルバッファサイズを指定します。設定可能な最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファのサイズ、[リソース保存]が[オン]と[オフ]のどちらに設定されているかによって異なります。パラレルバッファサイズの範囲を最大にするには、シリアルバッファとUSB バッファを無効にするかサイズを縮小します。
ジョブバッファ中	印刷前に一時的にジョブをプリンタのハードディスクに保存します。	オフ*	ハードディスクに印刷ジョブをバッファしません。
		オン	ハードディスクに印刷ジョブをバッファします。
		自動	他の入力ポートからのデータ処理のためプリンタがビジー状態の場合にのみ印刷ジョブをバッファします。
詳細ステータス	パラレルポート経由の双方向通信を有効にします。	オフ	パラレルポートネゴシエーションを無効にします。
		オン*	パラレルインターフェイス経由の双方向通信を有効にします。
プロトコル	パラレルインターフェイスプロトコルを指定します。	標準	一部のパラレルインターフェイスの問題が解決される可能性があります。
		Fastbytes*	既存のほとんどのパラレルインターフェイスとの互換性を提供します（推奨設定）。
初期化要求を受入れ	コンピュータからのハードウェアの初期化要求をプリンタが受け入れるかどうかを指定します。コンピュータは、パラレルインターフェイスから初期化信号を送信することによって初期化を要求します。多くのパーソナルコンピュータは、コンピュータの電源の入/切のたびに初期化信号を送信します。	オフ*	コンピュータからのプリンタハードウェアの初期化要求を受け入れません。
		オン	コンピュータからのプリンタハードウェアの初期化要求を受け入れます。
パラレルモード 2	パラレルポートのデータをストローブのリーディングエッジまたはトレーリングエッジのどちらでサンプリングするかを指定します。	オン*	パラレルポートのデータをストローブのリーディングエッジでサンプリングします。
		オフ	パラレルポートのデータをストローブのトレーリングエッジでサンプリングします。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
Mac バイナリ PS	Macintosh バイナリ PostScript 印刷ジョブを処理するようにプリンタを設定します。	オン	プリンタは、Macintosh オペレーティングシステムを使用するコンピュータからの RAW バイナリ PostScript 印刷ジョブを処理します。 メモ： この設定では通常、Windows 印刷ジョブは正常に終了しません。
		オフ	プリンタは、標準プロトコルを使用して PostScript 印刷ジョブをフィルタリングします。
		自動*	プリンタは、Windows または Macintosh オペレーティングシステムを使用するコンピュータからの印刷ジョブを処理します。
ENA アドレス	ENA 設定を構成します。	(4 フィールドの IP アドレス、出荷時標準設定は 0.0.0.0)	ENA にパラレルポート経由で接続している場合のみ表示されます。
ENA ネットマスク			
ENA ゲートウェイ			

シリアル<x>

以下のメニュー項目を使用して、オプションのシリアルポート経由でプリンタに送信されるジョブに影響するプリンタ設定を変更します。

メニュー項目	用途	値	
PCL SmartSwitch	標準のプリンタ言語に関わらず、シリアルポート経由で受信した印刷ジョブで PCL エミュレーションが要求された場合に、自動的に切り替わるように設定します。	オン*	オン*—シリアルインターフェイスのデータを検査し、PCL エミュレーションが要求されている場合は PCL エミュレーションを選択します。 オフ—プリンタは受信データを検査しません。[PS SmartSwitch] が [オン] の場合は、PostScript エミュレーションを使用してジョブを処理します。[PS SmartSwitch] が [オフ] の場合は、[セットアップ項目] で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
		オフ	
PS SmartSwitch	標準のプリンタ言語に関わらず、シリアルポート経由で受信した印刷ジョブで PostScript エミュレーションが要求された場合に、自動的に切り替わるように設定します。	オン*	オン*—シリアルインターフェイスのデータを検査し、PostScript エミュレーションが要求されている場合は PostScript エミュレーションを選択します。 オフ—プリンタは受信データを検査しません。[PCL SmartSwitch] が [オン] の場合は、PCL エミュレーションを使用してジョブを処理します。[PCL SmartSwitch] が [オフ] の場合は、[セットアップ項目] で指定した標準のプリンタ言語を使用します。
		オフ	
NPA モード	NPA (Network Printer Alliance) プロトコルで定義されている規則に従って、双方向通信に必要な特別な処理をプリンタが実行するかどうかを指定します。 メモ： このメニュー項目を変更すると、自動的にプリンタがリセットされます。	オン	プリンタは NPA 処理を実行します。データが NPA 形式でない場合、不良データとして拒否します。
		オフ	プリンタは NPA 処理を実行しません。
		自動*	プリンタはデータを検査して形式を特定し、それによってデータを処理します。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
シリアルバッファ	シリアル入力バッファのサイズを設定します。 メモ: [シリアルバッファ]メニュー項目を変更すると、自動的にプリンタがリセットされます。	無効	ジョブバッファを無効にします。ディスクにバッファ済みのジョブは、通常の受信ジョブの処理を再開する前に印刷されます。
		自動*	プリンタが自動的にシリアルバッファサイズを計算します (推奨設定)。
		3K ~ 許容最大サイズ	ユーザーがシリアルバッファサイズを指定します。設定可能な最大サイズは、プリンタのメモリ容量、他のリンクバッファのサイズ、[リソース保存] が [オン] と [オフ] のどちらに設定されているかによって異なります。シリアルバッファサイズの範囲を最大にするには、パラレルバッファと USB バッファを無効にするかサイズを縮小します。
ジョブバッファ中	印刷前に一時的にジョブをプリンタのハードディスクに保存します。	オフ*	ハードディスクに印刷ジョブをバッファしません。
		オン	ハードディスクに印刷ジョブをバッファします。
		自動	他の入力ポートからのデータ処理のためプリンタがビジー状態の場合にのみ印刷ジョブをバッファします。
シリアルプロトコル	シリアルインターフェイスで使用するハードウェアおよびソフトウェアのハンドシェイク値を選択します。	DTR*	ハードウェアハンドシェイクです。
		DTR/DSR	ハードウェアハンドシェイクです。
		XON/XOFF	ソフトウェアハンドシェイクです。
		XON/XOFF/DTR	ハードウェアハンドシェイクとソフトウェアハンドシェイクの組み合わせです。
		XONXOFF/DTRDSR	ハードウェアハンドシェイクとソフトウェアハンドシェイクの組み合わせです。
ロバスト XON	コンピュータにプリンタが使用可能であることを通知するかどうかを指定します。 このメニュー項目は、シリアルプロトコルが [XON/XOFF] に設定されているシリアルポートにのみ適用されます。	オフ*	プリンタは、コンピュータからデータが送信されるのを待ちます。
		オン	プリンタはホストコンピュータに XON の連続ストリームを送信して、シリアルポートがデータを受信する準備ができていることを通知します。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
ボー	シリアルポート経由で受信するデータの伝送速度を指定します。 メモ：ボーレート [138200]、[172800]、[230400]、[345600] が [標準シリアル] メニューに表示されます。これらの値は、[シリアルオプション 1]、[シリアルオプション 2]、[シリアルオプション 3] の各メニューでは表示されません。	1200	
		2400	
		4800	
		9600*	
		19200	
		38400	
		57600	
		115200	
		138200	
		172800	
		230400	
345600			
データビット	各伝送フレームで送信されるデータのビット数を指定します。	7	
		8*	
パリティ	シリアル入力およびシリアル出力のデータフレームのパリティを設定します。	偶数	
		奇数	
		なし*	
		無視	
DSR 使用	プリンタで DSR (Data Set Ready) 信号を使用するかどうかを指定します。DSR は、ほとんどのシリアルインターフェイスクーブルで使用されるハンドシェイク信号の 1 つです。 シリアルインターフェイスでは DSR を使用して、コンピュータから送信されたデータとシリアルケーブルで発生した電氣的ノイズを区別します。この電氣的ノイズによって、不要な文字が印刷されることがあります。[オン] を選択すると、不要な文字が印刷されません。	オフ*	シリアルポートで受信したすべてのデータを、有効なデータとして処理します。
		オン	DSR 信号がオン (ハイ) の間に受信したデータのみを有効として処理します。

NetWare

以下のメニュー項目を使用して、プリンタの NetWare 設定を表示または変更します。

メニュー項目	用途	値
ログイン名を表示	割り当てられた NetWare ログイン名を表示します。	[ログイン名を表示] を選択すると、NetWare ログイン名が操作パネルに表示されます。
印刷モードを表示	割り当てられた NetWare 印刷モードを表示します。	[印刷モードを表示] を選択すると、NetWare 印刷モードが操作パネルに表示されます。
ネットワーク番号	割り当てられた NetWare ネットワーク番号を表示します。	[ネットワーク番号] を選択すると、NetWare ネットワーク番号が操作パネルに表示されます。

プリンタメニューの使いかた

メニュー項目	用途	値	
有効化	NetWare 機能を有効化または無効化します。	オン オフ	オン – NetWare 機能が有効になります。 オフ – NetWare 機能が無効になります。
Ethernet 802.2	Ethernet 802.2 をオンまたはオフに設定します。	オン* オフ	
Ethernet 802.3	802.3 をオンまたはオフに設定します。	オン* オフ	
Ethernet Type II	Ethernet Type II をオンまたはオフに設定します。	オン* オフ	
Ethernet SNAP	Ethernet SNAP をオンまたはオフに設定します。	オン* オフ	
パケットバースト	パケットバーストをオンまたはオフに設定します。	オン オフ*	
NSQ/GSQ モード	NSQ/GSQ モードをオンまたはオフに設定します。	オン オフ*	

AppleTalk

以下のメニュー項目を使用して、プリンタの AppleTalk 設定を表示または変更します。

メニュー項目	用途	値	
名前を表示	割り当てられた AppleTalk 名を表示します。	[名前を表示] を選択すると、AppleTalk 名が操作パネルに表示されます。	
アドレスを表示	割り当てられた AppleTalk アドレスを表示します。	[アドレスを表示] を選択すると、AppleTalk アドレスが操作パネルに表示されます。	
有効化	AppleTalk 機能を有効化または無効化します。	オン* オフ	オン – AppleTalk 機能が有効になります。 オフ – AppleTalk 機能が無効になります。
ゾーンを設定*	ネットワークのゾーンの一覧を指定します。	標準設定は、ネットワークの標準ゾーンです。標準ゾーンがネットワークに存在しない場合は、*が標準設定です。	

LexLink

以下のメニュー項目を使用して、LexLink 名を表示したり、LexLink 機能の有効/無効を切り替えます。

メニュー項目	用途	値	
ニックネーム	割り当てられた LexLink ニックネームを表示します。	[ニックネーム] を選択すると、LexLink ニックネームが操作パネルに表示されます。	
有効化	LexLink 機能を有効化または無効化します。	オン* オフ	オン – LexLink 機能が有効になります。 オフ – LexLink 機能が無効になります。

プリンタメニューの使いかた

USB に直接

以下のメニュー項目を使用して、前部 USB ポートのサポートを有効または無効にします。

メニュー項目	用途	値
USB に直接		有効化* 無効化
		[無効化] に設定すると画面が切り替わり、ポートが無効化されたことが示されます。

ヘルプ

以下のメニュー項目を使用して、内蔵されている [ヘルプ] メニューページの一部またはすべてを印刷します。これらのページには、プリンタ接続、印刷品質、用紙のヒントに関する情報が含まれています。

メモ：操作パネルが英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語以外の言語に設定されている場合、ドキュメントは英語で印刷されます。

[ヘルプ] メニューページは、ソフトウェアおよび説明書類 CD にも収録されており、以下の言語で印刷できます。

日本語	デンマーク語	フィンランド語
フランス語	ノルウェー語	ロシア語
ドイツ語	オランダ語	ポーランド語
イタリア語	スウェーデン語	韓国語
スペイン語	ポルトガル語	簡体字中国語
繁体字中国語		

メニュー項目	用途	値
全て印刷	すべての [ヘルプ] メニュートピックを印刷します。	この項目を選択すると、[ヘルプ] メニューページが印刷され、プリンタは [準備完了] に戻ります。
カラー品質	「カラー品質」トピックを印刷します。	この項目を選択すると、[ヘルプ] メニュートピックが印刷され、プリンタは [準備完了] に戻ります。
印刷品質	「印刷品質」トピックを印刷します。	
印刷ガイド	「印刷ガイド」トピックを印刷します。	
用紙ガイド	「用紙ガイド」トピックを印刷します。	
印刷欠陥	「印刷欠陥」トピックを印刷します。	
メニューマップ	「メニューマップ」トピックを印刷します。	
情報ガイド	「情報ガイド」トピックを印刷します。	
接続ガイド	「接続ガイド」トピックを印刷します。	
移動ガイド	「移動ガイド」トピックを印刷します。	